



令和時代を迎えて

いよいよ新しい年号である令和がスタートしました。

昭和から平成に変わったのは、ちょうど私が高校生の時。昭和62年入学、平成2年卒業でした。そのときは、あまりにも突然だったので、今回の10連休とは全然違いましたが、それでも自分が「自分の生まれ育った時代が終わり、何か新しい時代がやってくる」といった期待感のようなものがあつたと記憶しています。令和はどんな時代になるのでしょうか。インターネットに掲載されていた令和予想年表を参考に代表的なことを取り出してみました。

東京オリンピック・パラリンピック開催（令和2年）／成人年齢を18歳に引き下げ、婚姻可能年齢も男女ともに18歳で統一（令和4年）／空飛ぶ車の販売がスタート（令和5年）／大阪万博開催。日本全体で約600万人の人手不足に。この年までにキャッシュレス決済比率が4割程度に（令和7年）／東日本大震災の年に生まれた子供が18歳で成人を迎える（令和11年）／訪日外国人6千万人に。日本人の約1/3が65歳以上の高齢者になる（2030年問題）（令和12年）／AIが人間の知能を上回る。平均寿命が女性は90歳を超える。（令和27年）／日本の人口が1億人を割って9913万人に（令和30年）／宇宙エレベーター（令和32年）

また、皆さんが関心のあるスマートフォンなどは、来年から5G（第5世代移動通信システム）に移行し、「超高速」「超大容量」「超大量接続」「超低遅延」が進むとともに、自動車の自動運転技術等にも応用されていくそうです。

商業の勉強は、なにも検定試験だけではありません。新聞やインターネット上の記事を読んで、今、教室で勉強していることが社会とどう関わっているのかということを意識して、生活していったほしいと思います。

検定試験の準備は、1か月前から

みなさんが商業科に入学した目的の一つに、検定試験の合格、社会に出てから役立つ資格の取得があつたと思います。2・3年生は、昨年・一昨年の経験から、どのように取り組めば合格できる、こういうふうにとやると失敗するということが段々分かってきたかと思いますが、検定試験の合格を左右するのは、まず、「試験1か月前には、検定試験モードに入る」ということではないでしょうか。検定試験に限らず、毎日の授業と家庭での学習が土台にあるのはもちろんですが、「絶対に合格する」という気持ちを忘れずに、一問一問しっかり解いていってください。検定試験は、頭がいい人が合格すると思っている人がいるかもしれませんが、私はそうではないと思います。「何が何でも自分は絶対に受かりたい」と思って、それを行動に移せる人、そして、「将来のなりたい自分」をイメージして、その自分に一歩ずつ近づくためにいま頑張っているんだという意識を持つことが大切だと思います。

検定試験の学習は、知識・技能だけでなく、目標に向かってあきらめない力、やればできるという自分自身に対する自信を身につける絶好の機会です。「クラス全員で合格する」ことを目標に、試験科目が得意な人も、そうでない人も、教え合いながら、クラス全体で一致団結して取り組んでください。

検定試験の学習のポイント

- ☐ 模擬問題集の問題を全て解く。
- ☐ 分からないところをそのままにしないで、学校で先生や友人に質問する。
- ☐ 10分や15分のすき間の時間を活用する。
- ☐ 問題に、解く手順や補足説明を書き込む。付箋などを活用するとより効果的。
- ☐ 間違った問題は、問題だけでなく、解答・解説にマーカーを引いたり、書き込んだりする。

検定試験への取り組み例

検定試験1か月前▼

家庭学習の計画立案。模擬問題集の学習開始。苦手分野の把握。

検定試験2週間前▼

休み時間や昼休み、放課後等に友人や先生に積極的に質問して苦手分野を克服

検定試験1週間前▼

過去問題で最終チェック。放課後の課外授業で合格ライン突破。



5月

商業科カレンダー

- 8日(水) ビジネス文書実務検定申込べ切
- 14日(火) 中間考査時間割発表
- 17日(金) ビジネスコミュニケーション検定申込べ切
- (16日(木) 珠算・電卓実務検定1か月前)
- 21日(火) 中間考査(～24日)
- (23日(木) 簿記実務検定1か月前)

勇気をくれたこのひとこと

あなたに足りないのは、能力ではなくて自信だよ。

*大企業での単調な仕事に不満を抱きつつも、安定を捨てるのがこわくて辞められずに我慢していました。そんなとき、仕事でも恋でも輝いていたあこがれの女性に掛けていただいたひとことです。
K. H(女 28歳 フリーライター)

やらずに後悔するより、やって後悔する方が何倍もいい。

M. T(女 19歳 会社員)

困難は、それを乗り越えられる人だけにやってくる。

*恋愛や受験に悩んでいたとき、同じ年のいこが言ってくれた言葉です。
Y. T(女 18歳 高校生)

『勇気をくれたこのひとこと』ディスカバー21編集部 より